

本気

JCニュース News

～愛する長崎を創る
大きな原動力のために～
Junior Chamber
International
NAGASAKI
2018

2018
Vol.734 4

創 立/昭和27年12月1日
承 認/昭和28年2月7日
認証番号/36番
理 事 長/光富 英治
会 員 数/133名
編 集/一般社団法人 長崎青年会議所 広報委員会

JCI Junior Chamber International NAGASAKI
一般社団法人 長崎青年会議所

事 務 局/〒850-0874 長崎市魚の町3番21号
(マリンハイツ長崎202号)
TEL 095-825-2709 FAX 095-822-5399
E-mail office@nagasaki-jc.jp
http://nagasaki-jc.jp/



Webサイトにアクセスできます

TOP NEWS

理事長挨拶

3月会員室担当例会

「愛する長崎を明るく豊かにするために」

- 長崎ブロック協議会会長 公式訪問例会 報告
- 65年をプレイバック「長崎JCの復興支援活動」
- 事業告知「長崎JC大運動会～本気の交流で熱くなれ！～」ほか
- 事業告知「JCI ASPAC 鹿児島大会」
- 長崎ブロック建設クラブ 2月定時総会及び懇親会 報告
- 各種大会情報/Facebookをシェアしよう！



理事長挨拶

一般社団法人長崎青年会議所
第66代理事長

光 富 英 治



皆様、日々の社業そしてJ.C活動お疲れ様です。本年度も3か月が過ぎ、各委員会活動も本格始動している頃ではないでしょうか。気候も暖かくなってきました、昼夜の寒暖差もありますので体調を崩さないよう、十分な自己管理を行って下さい。

さて、去る3月16日(金)に諫早の地に おきまして「公益社団法人日本青年会議所九州地区 長崎ブロック協議会 会長公式訪問例会」が開催されました。本年度は、島原J.Cより柴田英輔君がブロック会長として運動を展開しております。又、長崎J.Cからは吉田直前理事長が監査担当役員として、池田光史君が憲法改正推進委員会委員長として、鮎川愛君が次世代教育確立委員会委員長として出向しております。そのブロックアワー内にて行われました各委員会の事業説明は十

分理解されたでしょうか。6月に開催されます長崎ブロック大会in佐世保に向け、現在事業を構築しております。しかしながら、各委員会が構築した事業を推進していくのは我々メンバー一人ひとりです。今回の事業説明を契機として、その方向性をしっかりと確認し、長崎ブロック協議会のメンバーとしてブロック大会での事業や、その他本年度行われる活動・運動にしっかりと当事者意識を持って取り組んでいただきたいと思っております。又それを踏まえた上で、本日举行されます「公益社団法人日本青年会議所 九州地区協議会 会長公式訪問例会」に臨んでいただきたいと思っております。本年度は、福江J.Cより土岐達也君が会長として出向しております。我々長崎J.Cは、福江J.CのスポンサーJ.Cであり、又離島という場所にもかかわらず会長職を担われております。特に本年度は、5月にASPAC鹿児島大会、10月に全国大会宮崎大会という、九州で2つも大きな大会が開催される中で、長崎J.Cとしても惜しめない協力をしていかなければなりません。去る

4月7日(土)～8日(日)におきまして「九州地区J.Cサッカー選手権大会」が協働推進委員会の皆様、そして長崎J.Cサッカー部の皆様の主導のもと開催されましたが、大変盛会のうちに終了することができました。これも、九州地区内の交流を図り、九州地区の運動を推進していく上での更なる絆づくりの一助とすることができたのではないかと思います。協働推進委員会の皆様、大変お疲れ様でした。これらが一つの契機となり、先は

ども申したように、ブロック協議会同様、我々は九州地区協議会のメンバーでもあります。本日の事業説明もしっかりと聞いていただき、九州地区協議会が構築する運動を長崎J.Cメンバー全員で推進していきたいと思っております。

さて一方、LOM内におきましては、いよいよ仮入会員の面接日が近づいて参りました。現在のところ、目標の30名には到達しておらず、今後の長崎J.Cの会員数を鑑みると、目標の30名にとどまらず40名以上の会員数確保が必要となっております。皆様、本気で拡大活動を行っていただけますでしょうか。「自分には紹介できる対象者もいないし、誰かがやってくれるだろう」と思っていますか。毎年いわれておりますがこの拡大活動は、LOM全体を挙げた事業でありませぬ。ですので、必ず全員で取り組まなければいけません。去る3月31日(土)に大村の地におきまして「長崎ブロック協議会 拡大座談会」が開催され、長崎ブロック内より各LOMの拡大担当者が集まり、第1部では各LOMの拡大状況や問題点が報告されました。第2部では、日本本会より日本アカデミー会議の松岡副議長(西宮J.C)より、日本全体における拡大状況、そして現在行われている各地の拡大成功例とその手法の講話がありました。まず初めにあったのは、拡大には「近道」はないとのことでした。やはり多くの入会を求めるには、どれだけ人数をリストアップし、どれだけアポイントを取ってJ.Cの魅力伝えるかが大事であるということでした。又、拡大活動

は全てのJ.C活動の起点となるということ、とありました。対象者にJ.Cの魅力伝えるということは、まずその方々に意識を変革してもらうことになり、ひいてはその方の会社や家族にもご理解をいただくこととなります。そういうことが、まずは身近なところからの意識変革運動に繋がってまいります。そして、会員数が増えることで、より一層活動・運動に幅が広がり、そしてより魅力が増し、拡大活動をしていく上での話題の充実に繋がってまいります。この連鎖が上手くいけば、今後の拡大活動も軌道に乗ることができるそうです。しかし、現在の長崎J.Cの状況としては、逆の負の連鎖の方が強い状況にあります。だからこそ、今年はその転換期となるべく、一致団結して拡大活動に取り組まなければいけません。拡大活動こそが、次世代の長崎の創造への第一歩になるのです。残りあと僅かですが、最後の最後まで諦めずできる全てのことを行い、一人でも多くのメンバーの拡大に繋げて参りましょう。何卒、ご協力を宜しくお願い致します。

最後になりますが、これから各種事業が目白押しとなって参ります。会員交流事業や待ちに待ったASPAC鹿児島大会が開催されます。一つ一つの機会を無駄にすることなく、楽しみながらもJ.Cのスケールメリットを十分に体感し、得られる経験を今後のJ.C活動や社業に生かしていただければと思います。

第66年度 3月会員室担当例会

「愛する長崎を明るく豊かにするために」



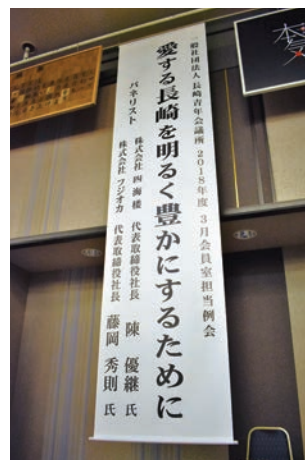
会員拡大委員会

副委員長 三浦一太郎 君

去る3月13日(火)、ホテルニュー長崎におきまして3月会員室担当例会を開催致しました。拡大対象者が参加されるこの公開例会で、今年は52名の方々にご参加いただきました。会員室担当アワーでは、まず会員拡大委員会より長崎JCについての組織説明と過去の事業説明を行いました。又、正会員が入会したきっかけを拡大対象者に紹介するために、正会員の皆様にご協力いただいたアンケートの集計結果を発表しました。その後、第52代理事長 陳 優継 先輩・第53代理事長 藤岡 秀則 先輩をパネリストとしてお招きし、吉田直前理事長をコーディネーターとしてパネルディスカッションを行いました。お二方の先輩には、JCに入会したきっかけや当時の活動内容、長崎JCのメリットなどについて、真剣さの中にも、笑いを誘いつつ耳を傾けずにはいられない雰囲気を作ってくださいながらお話ししていただきました。私が一番印象強かったことは、どちらの先輩もJCで経験されたことが、会社運

営であれ、ボランティア活動であれ、ご自身の活動に今でも大いに役立っているということでした。卒業してもJCでの経験は生きていくのだと深く感銘を受けました。

又、会員拡大委員会は、例会後の懇親会で拡大対象者から入会申込書をいただきました。この例会が会員拡大活動に繋がった証であり、正会員の皆様にとっても必ずや会員拡大活動の一助となっていることと確信しております。この例会がゴールではありませんが、まずは多くの動員していただきました皆様に感謝申し上げます。誠に有難うございました。



長崎ブロック協議会会長公式訪問例会

広報委員会

川原 倫彦 君



去る3月16日(金)、長崎ブロック協議会会長公式訪問例会が諫早の地で行われました。

当日は、憲法改正推進委員会の委員長として池田光史君と次世代教育確立委員会の委員長として鮎川愛君が各委員会の事業説明をしました。長崎ブロック協議会内7LOM会員が集う中、池田君はユーモア溢れるプレゼンテーションでこの日1番の盛り上がりを見せ、鮎川君は非常に落ち着いた様子で、この日1番のわかりやすいプレゼンテーションを行いました。

昨年私がブロック委員長としてプレゼンテーションをしたときは、この日のために多くの時間を使い試行錯誤し、当日は大変緊張しましたが、登壇したときに多くの長崎JCのメンバーの顔が見え、そして応援していただいたことに非常に感動したことを今でも鮮明に覚えております。池田、鮎川両委員長におかれましては、大変素晴らしいプレゼンテーションを有難うございました。

最後に、池田、鮎川両委員長は長崎JCを代表して出向しており、長崎ブロック大会の事業構築のために日々汗を流しておられます。来たる6月2日(土)に佐世保の地で行われる長崎ブロック大会の両委員長のフォーラムに必ず多くの長崎メンバーで応援に参りましょう。



長崎 JC の復興支援活動

東日本大震災から今年の3月で7年、熊本地震から4月で2年です。時間の経過と共に震災の記憶が少しずつ薄れてしまいがちですが、しかし決して忘れてはいけない記憶です。今回はこの2つの災害で長崎 JC がどのような支援活動を行ったのか、振り返ってみたいと思います。

2011年3月11日に発生した東日本大震災から6日後、3月17日から長崎 JC では街頭で募金活動を実施、更におよそ3か月後、有志35名が第一陣として宮城県へ被災地支援に向かいました。当時第59年度の JC ニュースは増刊号を発行して支援活動の様子を写真と共に伝えています。

瓦礫の山、ひっくり返ったままの車、魚の腐敗臭…、増刊号ではこれらの光景に衝撃を受けながらも瓦礫の撤去に汗を流すメンバー、炊き出し作業をするメンバーの姿が紹介されています。

現地は水道などのインフラがまだ復旧していませんでした。ホテルの駐車場で機材や道具を洗ったり、水汲みをしたりと復興作業の苦勞がたくさんあったということです。支援活動に向かったメンバーがこの体験についてメッセージを寄せています。卒業された方が多いですが、一方でまだ現役のメンバーもいます。震災の記憶を風化させないためにもこのときの体験談を聴くことが大切かもしれません。

その後、長崎で「東北復興支援祭～長崎からできること～」と題して、東北各地から冷麺や牛タンなどを仕入れて市民に向けて販売、売り上げを被災地に寄付するイベントを行いました。長崎から遠い被災地へ想いを寄せてほしいと市民を巻き込んだ事業となりました。

同じく2016年4月14日、16日に発生した熊本地震でも、募金活動や支援物資の運搬、炊き出し支援を行いました。

10月には長崎水辺の森公園にて「熊本支援事業～あなたの一歩が誰かの笑顔に～」と題して阿蘇の特産品の販売を行いました。阿蘇神社のモザイクアート作成は記憶にある方も多いと思います。

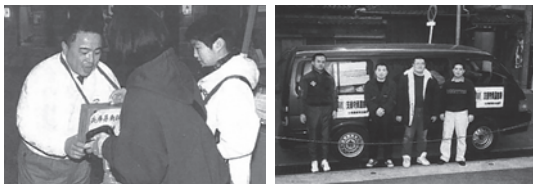
過去には1995年の阪神・淡路大震災でも友好 JC である神戸 JC を支援した記録があります。食料品などを積んだ大型ワゴン車で神戸に向かい神戸 JC を通じて被災住民に物資を届けたということです。

去年、長崎 JC は長崎市社会福祉協議会と災害時相互協力協定を結び、災害時にはボランティアセンター設置・運営などで協力していくこととなりました。

我々は青年として災害のときには市民の先頭に立って活動していく使命があることを肝に命じておかなければいけません。

(広報委員会 田口 一男)

阪神・淡路大震災時の活動



熊本地震時の活動



東日本大震災時の活動





会員開発交流委員会
副委員長 大平 大樹 君

来たる4月22日(日)13時30分より三菱重工総合体育館におきまして、「長崎JC大運動会～本気の交流で熱くなれ！～」が開催されます。

JCの活動は委員会の枠で交流することが多く、普段なかなか同じ委員会に所属するメンバー以外と密に交流を図る機会が多くありません。

そこで今回は委員会の垣根を越えて全メンバーをシャッフルしてチーム作りを行います。

競技種目についてはチームで試行錯誤して楽しめるものを4種目ご用意しており、チームみんなで協力して取り組める内容になっています。

なお、優勝チームには豪華お食事券をご用意しており



第64年度の会員交流ドッチビー大会の様子

ますので、是非皆さん本気の交流で運動会を楽しみ、本気で汗を流し、日ごろの不摂生による運動不足を解消し、JCメンバー全員で参加してメンバー同士の交流を図りましょう！



会員拡大活動、面接迫る！

対象リストに挙げた方々、挙げたままになってませんか？

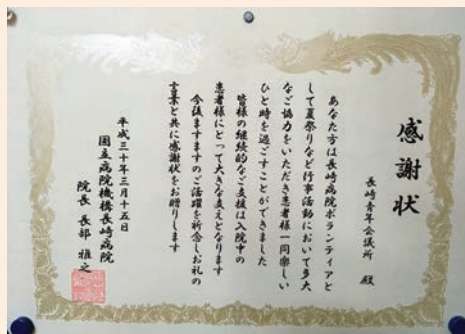
もう一押しなのか、本年度は難しいのか、しっかり決着をつけましょう！



広報レポート

長崎病院より感謝状

国立病院機構長崎病院みどり棟での夏祭りのお手伝いなど長崎JCのボランティア活動に対して感謝状をいただきました。これからも継続的な支援を続けていきたいと思います。





渉外委員会

委員長 溝江 琢也 君

来たる5月24日(木)～5月27日(日)にかけて、2018 JCI ASPAC 鹿児島大会が開催されます。今年は世界規模の大会が九州で行われ、非常に貴重な機会が提供されています。そこで、今回はASPACについてご説明致します。まず、どんな大会なのか？

国際青年会議所(JCI)は、エリアA(アフリカ)、B(アジア・太平洋)、C(北米・ラテンアメリカ)、D(ヨーロッパ)と



4つのエリアに分かれています。

原則として5～6月頃、エリア毎にそれぞれ毎年開催地を変えてエリア会議を行います。日本JCが所属するエリアBで開催される会議のことをJCI Asia-Pacific Area Conference(アジアパシフィック エリアコンファレンス)といい、略称ASPAC(アスパック)と呼ばれています。JCI ASPACはアジア・太平洋地区の会員が集うJCI世界会議に次ぐ規模の国際会議です。毎年国内外からおよそ1万人のJCメンバーが参加しています。個と個の交流、世界と地域の交流を通しての有益な情報交換、相互文化理解は、グローバル社会を生きる私たちにとって今まで培った精神を発露、発展させていく民間外交の最高の機会であるといえます。

大会プログラムなど各種情報掲載中です！

URL

<https://www.2018aspac.com/>

スマホ・タブレットはこちらから！▶



クラブ活動

長崎ブロック建設クラブ 2月定時総会及び懇親会



長崎ブロック建設クラブ

運営専務 手塚雄一郎 君

去る2月23日(金)、ホテルニュー長崎におきまして、「2018年度長崎ブロック建設クラブ 2月定時総会及び懇親会」が開催されました。定時総会では、2017年度の事業報告・決算報告や2018年度の事業計画・収支予算を上程させていただき、無事に全ての議案が承認されました。総会終了後には、「特別講演」として、第28代クラブ代表を務められました常盤育夫先輩に長崎ブロック建設クラブの歴史や今までに行ってきた活動など、ご経験に基づいてお話しいただきました。又、日本建設部会役員、シニア交流会の皆様にお越しいただき、全国部会大会などの告知を行っていただきました。懇親会では、

現役会員が積極的に特別会員や来訪の皆様と名刺交換を行うなど、交流を深める機会となりました。

最後になりますが、本年度は、尾崎光輝クラブ代表のもと、地域に向けた事業や楽しい交流事業を行う予定です。是非ともご興味のある方のご入会お待ちしております。



各種大会の日程が決定！ スケジュールをチェックしよう！

長崎ブロック大会IN佐世保

(長崎県佐世保市)

6月2日(土)~3日(日)



九州コンファレンス2018in天草

(熊本県天草市)

9月1日(土)~2日(日)



JCI
2018 JCI Asia-Pacific
Conference
KAGOSHIMA, JAPAN

JCI ASPAC鹿児島大会

(鹿児島県鹿児島市)

5月24日(土)~27日(日)

今年は
九州が
熱い!!



全国大会宮崎大会

(宮崎県宮崎市)

10月4日(土)~7日(日)

サマーコンファレンス2018

(神奈川県横浜市)

7月21日(土)~22日(日)

Facebookをシェアしよう！



長崎JC Facebookページ

URL
<https://www.facebook.com/nagasakijc/>

スマホ・タブレットはこちらから▶



例会でも度々紹介していますが、長崎JCはFacebookでも情報発信しています。皆さんはFacebookをしていますか？

これまで京都会議の報告や「手作りランタン体験コーナー」の告知、会員募集といったお知らせを投稿してきました。

Facebookをされている方、「長崎青年会議所」のFacebookページに是非「いいね！」をお願いします。

更に「シェアする」ボタンを押すことで、長崎JCと直接繋がりが無い方にもその投稿を見られるようになります。

「いいね！」だけだと対外の方にまで投稿が広がっていきません。投稿を見てもらうことで我々の活動・運動をPRすることができますので、是非「シェアする」ボタンも押して下さい。

長崎を明るく豊かにする我々の活動を対外へ発信するために、ご協力を宜しくお願い致します。